

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	千曲市			代表者名	市長 小川 修一
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画政策部情報政策課DX推進係	連絡先電話番号	026-273-1111
担当者役職	主任	担当者氏名	仲俣 棕介	連絡先E-mail	
住所	387-8511 長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	長野地域連携中枢都市圏9市町村におけるオープンデータ勉強会
概要	長野地域連携中枢都市圏9市町村において、オープンデータ活用推進のための勉強会を開催する。本勉強会でオープンデータに関して知見を有するアドバイザーに、オープンデータ化の意義やデータ利活用について講演いただきたい。		
支援を求める分野	オープンデータ		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年10月2日	講演(実地)	13時00分	16時30分	
				活動時間（分）	210
2-2. 派遣場所	会場名	千曲市役所	最寄駅	しなの鉄道 屋代駅	
	所在地	長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地	最寄駅からの交通手段	徒歩30分 バス5分	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	遠藤 守
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよくなったか等詳細に）	データ連携基盤の構築や運用に関する課題について、アドバイザーが支援されてきた自治体の事例を踏まえて、安全管理規程の整備等の個人データの扱いにおける留意点をご指摘いただき、データ連携基盤の構築・運用を考えるうえで有益な情報を提供いただいた。 また、オープンデータを用いたDX事例として、業務効率化や地域活性化等に繋がった須坂市の事例を紹介いただいた。オープンデータにより権利問題を解消し、データの流通を円滑にすること、すべて自治体が抱え込まずサービス部分は民間に任せることが大切とご説明いただいた。 参加者のアンケート結果からも、関心のある内容かつ今後の業務の参考になるものだったと捉えている。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	12人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	12			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的に記入下さい）	オープンデータに関する取組は圏域内自治体で差が生じている。また、オープンデータ公開後の更新や、データの利活用が進まないなどの課題を感じている。
支援により目指す成果（具体的に記入下さい）	本勉強会でアドバイザーから講演いただき、担当者のオープンデータ及びデータ利活用に関する理解を深める。本勉強会をきっかけに、圏域自治体が保有するデータのオープンデータ化や、公開済データの最新化、公開後のデータ利活用の促進を図る。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	長野地域連携中枢都市圏9市町村におけるオープンデータ勉強会において、アドバイザーより「オープンデータ推進とデジタル社会の実現に向けて」という演題で講演いただいた。前半はトレンドであるデータ連携基盤の課題について、アドバイザーの支援経験等を踏まえご説明いただいた。後半は、オープンデータを用いたDX事例について紹介いただき、オープンデータは権利問題を解消し、データの流通を円滑にすること、サービス部分は民間に任せることで業務効率化や地域活性化につながるということについてご説明いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	勉強会のため直接改善に繋がってはいないが、アンケート結果から多くの参加者にとって今後の業務の参考になっているものと捉えている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 勉強会のため具体的な成果物はなし。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	参加者が本勉強会で得たものを具体的な取組に結び付けるよう、職場に持ち帰り自己の業務に照らし考えていく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者の8割が、今後の業務の参考になると回答している。自由記載ではオープンデータの実情を知ることができた、データ連携基盤の構築を進めるうえでの個人データの扱いについて参考になった、など肯定的な意見だった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい 今年度の勉強会開催の結果を踏まえ、来年度以降の開催内容について圏域内自治体と協議する必要がある。	⑤その他
4-4. 事業の最終的な目指す姿	本勉強会を通じて、圏域のオープンデータの利活用の推進を図り、地域課題の解決、行政の効率化及びイノベーションの創出を目指す。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

